

優秀賞

みんなで助け合うには

真鶴町立まなづる小学校五年 青山 ことみ

私は、福祉のことをあまり知りませんでした。そして、学んだことでいろいろ知ることができました。私が学んだことは、二つあります。

一点目は、障害者スポーツについてです。九月二十一日に、車椅子バスケの体験をしました。私は、車椅子バスケ用の車椅子を初めて見たし、乗ったことも初めてでした。講師の熊谷さんは車椅子バスケをやっている方です。カーブで曲がる体験や試合をしました。最初に乗った時は、少し怖かったです。でも、乗っていくうちにどんどん慣れていき楽しくなりました。でも、講師の熊谷さんは、車椅子で走るのが速くて「すごい。」と思いました。最初は、講師の熊谷さんも「怖かったのかな。」と私は、思いました。

二点目は、いろいろな障害を持った方がいるということです。四月～十一月の終わりにかけて、四年生みんなでグループにわかれて、福祉について調べ学習をしました。私は、「身のまわりの福祉」について調べ、手話・オストメイト・ヘルプマークの三つを調べました。手話は、耳の聞こえない人が使う会話の方法です。オストメイトは、クローン病、がんにかかった方が、使うものです。ヘルプマークは、病気などを持っている人がまわりの人に助けや配慮を知らせる物です。手話は難しいけど、もし耳の聞こえない人が助けをもとめて、自分が手話ができなかったら、書いたりして、助けたいと思いました。

これからは、まわりの人達みんな、お年寄りや障害を持った方を助けていく毎日がおくれるようにしていきたいと私は、思っています。